



教育目標 真剣に学び 自然や人を愛し たくましく生きる生徒

光る君たちへ!



校長 矢島 加都美

今年度も真光寺中学校の教育活動へのご理解、ご協力ありがとうございました。元日の能登半島大地震から70日あまり、2011年の東日本大震災からは13年の月日が流れました。時が経つと人間の記憶は薄れていきますが、ことある毎に教訓として大切なことは思い返していかなければなりません。災害だけではなく、近年悩まされ続けた「コロナ」も、既に遠い昔の出来事になっている人もいます。過去の経験やその時に得た知識は、頭の片隅に置いておくことができると、いざというときに必ず役立つはずです。

早いもので明日は卒業式、来週の月曜日は修了式です。春を起点終点にしている日本では、この季節は「節目」の時期です。終わりがあって、次が始まります。次への準備期間も約2週間です。皆さんそれぞれがそれぞれの今年度を締めくくり、進学や進級の準備をしていきましょう。今年度は「4年振り」と言う言葉が多く聞かれました。約3年間もの間、生徒の皆さんはもとより、保護者、地域の方々には通常とは異なる真光寺中学校の生活だったことに、大変申し訳ない気持ちでいっぱいです。しかし、今年度に入り長かった暗闇状態から、少しずつ自身が進む方向に光を見つけられるようになってきました。光を感じる・・・即ち夢や希望に向かって前進していける可能性が広がってきたこととなります。そして新たな時代は、自分自身が光り輝く時です。

「節目」の時期は自信を大きく成長させるきっかけを作る時期です。「目標」や「夢」を口に出しましょう。周りの人たちにその「目標」や「夢」を話しましょう。それを聞いた人は応援しましょう。自身に関わる人たちへの感謝の気持ちを持ち続けましょう。互いを認め合うこと。思いやること。暗闇から解放放たれていくこんな時だからこそ、心に深くそして強く思いを刻んで、「目標」や「夢」に向かっていってほしいと思います。社会全体が新たな光を目指して前進していく時代の波に、皆さんも乗っかり、その光に負けないくらいあなた自身が光り輝きましょう。

さあ、新たな世界へ向かって出発する時が近づいてきました。

「次」への準備を怠ることなく、無限に広がるあなたの未来に向かって、進んでいきましょう。

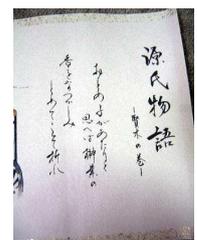
光り輝いてください。輝きあってください。

皆さんの「明日」が「今日」よりも素敵な一日になるような努力をしていきましょう。

期待しています。

応援しています。

卒業、進級おめでとうございます。



今年度の進路について

進路指導主任 主幹教諭 山田 慎一

今年度の受験は、昨年度に比べ三つの大きな動きがありました。①都立高校の男女合同選抜。②都立高校推薦入試の集団討論・面接の復活。③都内の高校の授業料の実質無償化です。

まず、都立高校の男女合同選抜については、これまでの男女間の不平等がなくなりました。これにより都立高校の男女比がどう推移したかは、これからの分析結果が待たれます。



次に集団討論・集団面接の復活についてです。近隣では調布南高校、永山高校、町田工科で実施されました。来年度の受験で他の都立高校も実施するかは、まだ不透明です。

最後に都内の高校の授業料実質無償化です。都内の私立高校も授業料が実質無償になりました。所得制限もなくなりました。

このように制度的な変化がありました。生徒が高校を選ぶ基準に変化があったようには感じられませんでした。生徒が高校を選ぶ基準は、やはり実際に高校に足を運んだ時の雰囲気や、高校の活動、学力といったものかと思えます。都立の推薦入試では実際の場面を想定した質問が多かったようです。高校ではどんな勉強をしたいか、またどんな生活を送りたいかといった目的意識。自分がどんな人間かという自己分析。進学に対してどれだけ熱意があるかといったものが、推薦入試のなかで問われたのではないかと思います。実際に高校では生徒が主体的に学習し発表する「探求学習」を多くの学校が行っています。自分の興味や関心を育てることは大事なことだと思います。

さて、これから受験を迎える2年生、1年生は目の前の授業を大切にしてほしいと思います。授業のなかに、将来の自分につながる学びがあるかも知れませんが、興味がない、関心がない、わからないといった勉強もあるかもしれませんが、我慢をして聞いてみてください。辛抱強く取り組んでみてください。案外、自分に合った、おもしろいものが見つかるかも知れません。

1年間を振り返って（1年生）

1学年主任 主任教諭 田中 朋也

真光寺中学校に赴任して。早くも1年が経とうとしています。早かったか遅かったかと問われると、一瞬で過ぎ去っていったように感じます。私と並び、初めて真光寺中学校で勤務するスタッフが多い中、議論を重ねながら前に進んできました。経験不足ゆえに手間取ってしまうことも多々ありました。しかし、そんな中でも、1学年の生徒たちと共に確実に歩んできました。明るく前向きに学校生活に励む生徒たちに、教員も支えられてきました。そして当たり前のように生徒たちが学校生活を送っている裏で、保護者の方々の協力があったことを改めて実感している次第です。



生徒たちは、中学生になって最初の1年でしたが、学習、部活動、行事など何でも一生懸命に取り組んでいました。「伝えれば応えてくれる」雰囲気があり、何かすることを伝えると意欲をもちながら行っていました。この調子で2年生も突き進んでいってほしいです。もちろん個々をみると課題もあり、これから成長していかなくてはなりません。引き続き一緒に歩みながら支えていきたいと思えます。

1年間を振り返って(2年生)

2学年主任 主幹教諭 横田 美紀

2年生はこの1年間で様々な行事を経験するごとに集団を引っ張るリーダーの力、互いに声掛けしあう力、一人一人が協力する力が着実に伸びていると思います。また生活面でも、2月の校外学習に向けて実行委員を中心に「時間を意識しよう」という声かけを続けたことで、今では授業のチャイムが鳴るときにはほぼ全員が着席できるようになりました。来年度はさらに成長した姿を見ることができないかと楽しみにしています。



4月からは最高学年である3年生です。「こんな3年生になりたい」という思いをもちつつ、進路や人間関係に対する不安を抱えている生徒も少なくないと思います。ぜひ、お子様の思いや頑張りを認め、応援してあげてください。そして、ご家庭で心配なことがありましたら、ぜひ学校にご相談ください。学校と家庭で、お互いにわからない部分、不安な部分を補い合いながら、一緒になって子供たちを支えていきましょう。よろしく願いいたします。

1年間を振り返って(3年生)

3学年主任 主幹教諭 山田 慎一

3年生の国語で中国の思想家孔子の『論語』を学びます。その『論語』には「吾十有五(われじゅうゆうご)にして学に志す。三十にして立つ。四十にして惑わず。…」と孔子が人生を振り返った言葉があります。「志学」や「不惑」といった言葉の由来にもなった言葉です。この言葉自体は教科書にありませんが、私は好きで紹介しています。「私は十五歳で学問を志し、三十歳でそれで食べていけるようになった。四十歳で迷わなくなり・・・」と孔子が亡くなる七十代まで言葉が続くのです。



前置きが長くなりましたが、15歳は学問や夢の入り口、土台作りになると捉えています。それ故に、この1年間を大切に過ごしてきました。今年度は行事等をコロナ以前に戻して実施することができました。体育祭や文化祭、なにより修学旅行に行けたことがよかったですと思います。行事を通して、生徒が親睦を深め、互いの存在を認め合える。3年間の集大成と思うと、気持ちも入ります。人と関わり合うことの大切さも実感できたでしょう。また、受験に向けて、それぞれがよく頑張っていたと思います。当然、誰もが不安を感じてたことだと思います。しかし、多くの生徒が自分の不安な気持ちを抑えて勉強に向かっていたことが印象に残っています。成長というのは、こういった姿に見られるものだと思います。

中学校と高校の違いはなんでしょうか。より個人の自立が求められます。自分の責任が重くなります。いずれ出てゆく社会が近くなります。大人として扱われることでしょうか。大人になるということを楽しんでほしいと思います。

最後になります。卒業おめでとうございませす。保護者の皆様。様々な面でご協力いただき、ありがとうございました。たった数年でしたが、素敵な生徒たちと時間を過ごせたことを、感謝しています。

笑顔プロジェクト

担当 教諭 服部 貴洋

2月29日（木）全校生徒対象の校外学習「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」を実施しました。これは、東京都教育委員会の取り組みの一つで、東京都の生徒に多様な活動の機会を提供するものです。



本校は、江東区青海（お台場周辺）にある、「日本科学未来館」へ行きました。学年末考査の直後ということもあり、生徒たちの表情は朝から明るく、バスでの移動も楽しく過ごしていました。

日本科学未来館は、日常にある「科学」について展示や体験プログラムを通して学ぶ施設です。「老いパーク」という老いた時の体の特性を体験する展示は、生徒達にとっても好評でした。他にも、「100憶人でサバイバル」では、自然災害がどのような仕組みで起きているのかが、分かりやすく展示されており、生徒は食い入るように見学していました。

事前学習では科学に興味が無さそうな生徒たちの様子もありましたが、感想では「面白かった」「色んなところに『科学』があることが分かった」といったものがありました。

自分でも気づかない自分自身の興味・関心は、実は意外なところに転がっているかもしれません。選り好みせず、視野を広くもってこれからも学習してほしいです。

3年生 薬物乱用防止教室

主任養護教諭 齊藤 静栄

八王子ダルクの所長 加藤様に講演をお願いし、薬物の乱用が心身や社会に与える影響についてお話をさせていただきました。



薬物乱用とは、覚せい剤等法律で禁止されている薬物やシンナー等の化学物質を、不正な目的や方法で使用することです。近年、薬物関連で警察に捕まる青少年は減少傾向にありますが、若者を中心に薬物が使用されていることや市販薬を正しく使用しないことなど問題があります。薬物依存にならないためには、生きることの支えが大切であるというお話を伺いました。

3年生の感想を紹介します。

- ★薬物は程遠いと思っていましたが、簡単に手に入ることや、身近な先輩や友達に誘われ断れずにやってしまう可能性があるということに驚きました。
- ★アニメやゲームなどに薬物が出てきたりして危機感が薄れていたため、今回のお話を聞いて良かった。新しい人間関係を作っていくことに不安はあるが、今は友人を大切に過ごしたいと思った。
- ★加藤さんの話を聞くと自分がその状況にいるかのようで苦しかったです。何らかに追い込まれ精神的に辛くなった時に薬物をやってしまうのだらうと思いました。大学に行ったり、海外に行ったりすると薬物をもっと身近になると思うので今日の話をお忘れなく。
- ★薬物を使ってしまった人によりそってあげることが大切ということが印象に残りました。

人との関わりを大切にしながら、自分を大切にしたいという感想が多かったです。今回講演の感想や思いを大切にしていってほしいです。

頑張る真中生

体育優良生徒 市村 怜温 君 山崎 凜音 さん

産業振興会優良生徒 結城 玲音 君 小山 絢女 さん



第8回東京都中学校新聞スクラップコンクール

優秀賞 橋本 果歩 さん（1年）

努力賞 遠藤 里菜 さん（1年） 外崎 心路 さん（1年）

第63回東京都中学校書き初め紙上展

金賞 鈴木 美潤 さん（3年） 岩井 晶子 さん（2年） 珈-ット里那 さん（1年）

ALL JAPN DANCE CHEER COMPETITION 第1位 羽鳥 菜摘 さん（2年）